

国鉄晩年の不揃いな編成を再現する、
ウグイス色の**103系**を新発売。



●常点灯仕様で「ON-OFFスイッチ」付きのヘッド・テールライト、前面表示（運行番号/行先・線名）の点灯には電球色LEDを使用し、カラープリズムによって前面表示は白色に近い色で、テールライトは赤色で点灯します。この前面表示は交換・選択式として各種（※）を揃えています。また、従来製品と同様に、先頭車運転台側、各車の連結側面にはボディマウント式密連形TNカブラー（SP）を標準装備し、車体側に取り付けるジャンパ受けとジャンパホースを別パーツで付属します。なお、基本セットには運転台屋根周りの信号炎管、ATCアンテナの他、床下周りのATS車上子、台車排障器、さらに前面に掲出された誤乗防止の路線表示板（横浜線）の印刷済みパーツも付属します。

（※）前面表示 「15/快速 八王子」「45/橋本」「13/東神奈川」「27/快速 磯子」「11/山手線」「09/大崎」「58/池袋」「16/品川」「43/快速 新宿」「21/大宮」「41/指扇」「17/通勤快速 川越」



●ユニット窓、新製冷房車（左写真）と初期型非冷房車（右写真）の車体側面。段付き表現を施した側窓は、それぞれの形態を実感的に見せています。また、各車の窓ゴムはオリジナルのグレーとしています。



●モハ103形屋根上のPS16形パンタグラフは、上昇時、折り畳み時ともにリアルな形態のパーツを取り付け、銅製キセのAU75形クーラー、別パーツのベンチレーター、避雷器により、屋根回りをリアルに見せています。

●両セットに入る、103系オリジナル形態のサハ103形初期型非冷房車。ボディマウント式TNカブラーの使用により、同形を始めとして各車には車端部床下をリアルに見せる、空気配管を取り付けています。



103系（高運転台ATC車・ウグイス）基本セット（7両）

103系は国鉄初の高性能通勤形電車101系（登場時モハ90系）の後継として、1963（昭和38）年3月に「ウグイス色（黄緑6号）」をまとった先行試作車が登場しました。この試作車は各種性能試験の後、同年12月より山手線での営業運転を開始、翌年5月からは量産車の新製投入が始まりました。その後、同系は山手線のみならず、首都圏や関西圏の各線にも投入され、20年以上におよぶ製造によって3400両余りが誕生し、国鉄通勤形電車の代表形式になりました。103系は後に地下鉄乗入れ仕様や、保安システムのATC導入に対応した車両も製造され、バリエーションに富んだ形式ともなりました。

トミックスではハイグレード仕様の103系各種を製品化してまいりましたが、同系初投入線区である山手線の開業140周年と環状運転100周年、さらに同系が運転された埼京線の開業40周年の今年に、「ウグイス色」の103系を新たに発売いたします。モデルは組み替えによって中程に初期型の非冷房車を組み込んだ、国鉄晩年に見られた編成を再現するべく、高運転台ATC車のクハ103形、ユニット窓、新製冷房車のモハ103・モハ102形、初期型非冷房車のサハ103形から成る7両基本セットの他、初期型非冷房車のモハ103・102形、サハ103形の3両増結セットを揃えます。基本セットはそのままで、トミックス103系シリーズ初の横浜線編成となり、別売の増結セットを組み合わせることで、山手線や埼京線の10両フル編成も再現できます。

基本セットに含まれるモーター車には、M-13モーター使用のフライホイール付き動力ユニットを、その他のトレーラーには新集電システムを、さらに足回りを引き締める黒色車輪を全車に使用しています。また、基本セットには増結セットにも対応する転写シート[車体番号（南シナ・北ハエ・南カマ所属編成）、ATC/ATS標記、シルバーシートマーク、所属・定員標記（南シナ・北ハエ・南カマ）、前面・側面用JRマーク]が付属します。

103系

通勤電車（ウグイス）

- 国鉄 103系通勤電車（高運転台ATC車・ウグイス）
基本セット（7両） <97615> 予価¥30,250（税込）
- 国鉄 103系通勤電車（初期型非冷房車・ウグイス）
増結セット（3両） <97616> 予価¥11,220（税込）

JR東日本商品化許諾済 / JR西日本商品化許諾済

12月発売予定

トミックス製品情報はトミーテックホームページで…

www.tomytec.co.jp/tomix/

※写真は試作品のため、
製品と異なる部分が
あります。

タカラトミーグループ

株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10
（株）トミーテック
お客様相談室トミックス係
TEL.03-3695-3161（代）
※月～金曜10～17時／祝・休日を除く